

蕨学園 27 期「史跡めぐり」第 7 回活動ご案内

月番(赤石、井川、岡部、海野、北村、茂木、森田)

湯島・本郷・根津ぐるっと散策

1. 活動日：2018 年 2 月 8 日(木)
2. 集合場所と時間：御徒町駅北口改札を出たところに午前 10 時 00 分
3. 行程：10：00 皆様の集合を確認後、御徒町駅出発。

御徒町駅→①湯島天満宮→②旧岩崎邸庭園→③東大赤門（構内自由散策&ランチ）→
④東大弥生門→⑤根津神社→根津駅

御徒町駅出発(10：00)

- ①「湯島天満宮」(10：15)

お参り&梅まつり鑑賞 10：35 出発



- ②「旧岩崎邸庭園」(10：50) ボランティアガイドツアー 入館料 400 円(65 歳以上 200 円)

12 時 券売所前集合(厳守) ⇒東大へ移動



- ③「東大」赤門 (12：30 頃) 集合写真…構内自由散策&ランチ



東大構内の見どころ

・赤門 ・東京大学総合研究博物館 ・ミュルレル像 ・ベルツ像&スクリバ像

- ・三四郎池 ・正門 ・古市公威像 ・コンドル像 ・ウエスト像
- ・工学部1号館、2号館（内田ゴシック） ・安田講堂

※昼食…中央食堂は閉鎖中

生協銀杏メトロ食堂（11:30~13:30 一般者利用不可）

生協銀杏メトロ食堂のお弁当（食事場所有ります）：利用可

日比谷松本楼、カポ・ペリカーノ、サブウェイ：利用可

④「東大」弥生門集合（14：45） 厳守

⑤「根津神社」（15：00頃） 境内散策 15：40 楼門付近に集合
根津駅到着（16：00頃）解散



4. 持ち物： 飲み物、雨具、保険証コピー、その他必要なもの

5. 2月8日(木)、御徒町駅集合時に「200円」集金いたします。

(*)入館料…旧岩崎庭園

6. 2月8日(木)の活動の有無は、前日18：00に連絡網にてお知らせします。

見所・ランチ解説

「湯島天満宮（湯島天神）」（梅まつり 2/8～）

御祭神は天之手力雄命（あめのたちからのみこと）、菅原道真公。社伝によれば雄略天皇 2 年（458 年）1 月、雄略天皇の勅命により天之手力雄命を祀る神社として創建され、南北朝時代の 1355 年、菅原道真を勧請して合祀した。明治 5 年近代社格制度において郷社に列し、明治 18 年に府社に昇格し、平成 13 年（2001 年）に神社本庁の別表神社に指定された。2000 年 3 月 31 日に湯島神社から湯島天満宮に改称。権現造の本殿は 1995 年 12 月に再建された。宝物殿には神輿、天神集像、河鍋暁誉「野見宿禰と当麻蹴速図」、狩野洞雲「牛乗天神」、広重「江戸名所百景」出目長吉「天神面」などが展示されている。

「旧岩崎邸庭園」

旧岩崎邸の敷地は、江戸時代には越後高田藩榊原家の中屋敷であった。明治時代の初期に牧野弼成（旧舞鶴藩主）邸となり、1878 年に三菱財閥初代の岩崎弥太郎が購入した。現存する洋館、大広間などは、岩崎財閥 3 代目の岩崎久弥によってジョサイア・コンドルの設計で建てられ、1896 年に竣工したものである。洋館、大広間、撞球室の 3 棟ならびに宅地が「旧岩崎家住宅」として国の重要文化財に指定されている。

「赤門」東大案内図④

東京開成学校と東京医学校が合併して東京大学が 1877 年にできましたが赤門が作られたのは 1827 年でした。本郷キャンパスの敷地はかつて加賀藩前田家などの上屋敷（大名屋敷）でした。1827 年、前田斉泰は徳川家 11 代将軍家斉の第 21 女、溶姫を迎える際に造られました。

正式名称は「旧加賀屋敷御守殿門」重要文化財

「東京大学総合研究博物館」①

東京大学が創立以来収集してきた自然史や文化史等の学術標本を中心に、約 400 万点を所蔵しています。

真理の探求を目指して、標本資料を蓄積し、記載し、解析し、新しい理論を築く。そうした人間の学の営みを集めたものが、「UMUT オープンラボ」です。

「レオポルト・ミュルレル像」

ドイツ医学の導入のため 1871 年 8 月来日し、製薬学科の設立に関わった。1873 年まで解剖学・外科・婦人科・眼科を担当した。

「ベルツ像&スクリバ像」

ドイツ人のベルツとスクリバは、ともに創生期の東大医学部で 20 年以上教鞭をとり、日本の近代医学の発展に貢献した。ベルツは内科学、スクリバは外科学が専門でした。2 人が退官後の 1907 年に日本の洋風彫刻の先駆者とされる長沼守敬により製作された。

この胸像の近くには、水原秋桜子の俳句「胸像をぬらす日本の花の雨」の句碑があります。

「三四郎池（育徳園心字池）」④

1638 年加賀藩前田家当主前田利常によって園池が築造された。池の形「心」という字をかたどっており、この池の正式名称は「育徳園心字池」なのですが、夏目漱石の小説「三四郎」以来、三四郎池の名で親しまれている。池周辺は森を形成しており 100 種類近くの植物が存在し、季節によって異なる表情を見せてくれます。

（池周辺散策の際には、階段の段差が大きいので要注意）

「正門」③

当時の浜尾総長の創意により伊東忠太の設計で 1912 年に建造された。冠木門形式の大扉と小扉からなる正門は、その左右に対称に配置された門衛所、煉瓦塀を含め、国の登録有形文化財に指定されている。

「古市公威像」

古市公威（ふるいちこうい）は 1854 年に江戸の姫路藩中屋敷で生まれ、14 歳の時に東大の前身である開成所に入学。1886 年に帝国大学工科大学（のちの東京大学工学部）の大学長となり、1898 年に辞任。その後、鉄道作業局長官、理化学研究所所長、日仏協会理事長などを歴任した。

「ジョサイア・コンドル像」

1877 年、コンドルの来日と同時に日本の建築学は始まりました。工部大学造家科（のちの工学部建築学科）で教鞭を執り、辰野金吾らを一流の建築家へと育て上げた。鹿鳴館、神田ニコライ堂、三菱一号館、岩崎邸などを手がけた。弟子たちの作品には東京駅や日本銀行（辰野金吾）、迎賓館赤坂離宮（片山東熊）、日本橋や横浜レンガ倉庫（妻木頼黄）がある。

「CD ウエスト像」

1847年1月7日アイルランドのダブリン生まれ。1882年32歳で来日し、工部大学校で機械工学と造船学を教えた。台座にはめ込まれた4枚のパネルのうち正面にはウエストの足跡が記され、右側面には製鉄所、裏面には造船所、左側面にはエンジンが描かれている。

「内田ゴシック（工学部1号館など）」

内田祥三は関東大震災（1923年）後の東京帝大構内の復旧を主導。正門から続く銀杏並木などキャンパスに明快な軸線を導入し、「内田ゴシック」といわれるデザインパターンの建物を数多く建設した。東京大学本郷キャンパスの一連の建物：安田講堂、総合図書館、東大附属病院第一研究棟・管理研究棟、法文1・2号館、法学部3号館、医学部1・2号館、工学部列品館、工学部1・3・4・6号館、理学部2号館、農学部1・2・3号館（以上はいわゆる内田ゴシックのデザイン）、龍岡門、工学部2号館、七徳堂、農学部正門、東大球場など。

「安田講堂」①

安田善次郎氏の寄附により大正14(1925)年に竣工。高さ39.7m。現在は式典・公開講座・五月祭などで使用されている。

安田講堂が全国的に有名になったのは1969年、大学解体を掲げ過激派の学生たちが安田講堂に立てこもった事件によります。登録有形文化財

「根津神社」

御祭神は須佐之男命（すさのおのみこと）、大山咋命（おおやまくいのみこと）、誉田別命（ほんだわけのみこと）。日本武尊が1900年近く前に創祀したとされる古社で東京十社の一社に数えられている。現在の社殿は宝永3年（1706年）の創建で、権現造（本殿、幣殿、拝殿を構造的に一体に造る）の傑作とされている。楼門、唐門、拝殿、青銅灯籠（以上国指定重要文化財）、乙女稲荷神社（千本鳥居）、駒込稲荷

ランチ

生協銀杏メトロ食堂：（11:30～13:30 一般者利用不可）①

定食等メニュー多数あります

同食堂前にてお弁当販売（食事場所有ります）①

日比谷松本楼④

本日のランチ（1,200円）、ハイカラハヤシライス（1,050円）、野菜カレー（1,350円）、三元豚のカツカレー（1,350円）、ハンバーグステーキ（1,350円）など

カポ・ペリカーノ（イタリアン）② 13F（医・教育研修棟）

日替わりランチ：Aセット（日替わりスパゲッティ、サラダ 860円）Bセット（本日のリゾット、サラダ 910円）Cセット（本日の肉料理、サラダ 970円）Dセット（ミニサラダ、前菜2種、小さいメイン料理、本日のスパゲッティ 1190円）

パン、コーヒー（紅茶・ルイボスティ）付き

サブウェイ④

サンドイッチ、コーヒー、紅茶

スターバックスコーヒー⑤